

### 第53回入学式 式辞より (抜粋)

・・・前段省略・・・

ところで、中学校生活を有意義に過ごすためのお話をしたいと思います。それは、何のために教科の勉強をするのか、と言うお話しです。皆さんは今日から3年間、毎日学習します。それは何のためなのか。

中学校を卒業すると、もう立派に世の中に出て働ける、と言う事が法律で決まっています。しかし、只々社会に出て行くのではなく、社会に貢献できる人、世の中を良くしていける人、世の中の人を幸せにできる人になってもらいたい、という願いが私たちにはあります。西中学校ではこうした人を「良き社会人」と言っています。

では、よき社会人になるために一体何が必要なのでしょうか。それは様々あると思いますが、そのうちの一つに「様々なものの見方考え方ができる」ということがあります。いろいろな教科の学習を通して様々なものの見方考え方ができる人になってもらいたいのです。

いくつか例を挙げて考えてみましょう。

例えば、虹を例にして考えてみましょう。「虹の彼方に(Somewhere over the rainbow)」という歌があります。その歌詞は私たちに希望と勇気を与えてくれる、大変有名な名曲ですが、その歌詞には題名となっている「虹の彼方に」という一節があります。この一節、皆さんは、あたかもどこかに一つの虹があるように感じませんか。しかし、理科の先生に言わせれば、「みんなが一つの虹を見ていると思っっているようだが、実は虹など存在しない。空気中に多く存在している水滴を、太陽を背にして見ると、それぞれの場所でそれぞれの人が違う虹が見えているのだ。それぞれの人が見ている虹がみなよく似ているので同じ虹を見ていると考えてしまうのだ」と言うでしょう。

つまり、詩的、こう言って良ければ国語的なものの見方と理科的なもの見方とでは随分と違うことが解ると思うのです。

また次の様な例も考えて見ましょう。感染症にかかった人の数が毎日報道されています。しかし、何人が検査を受けて、そのうちの何人が感染症にかかったのか、気になりませんか。100人検査して100人が全員感染症であるのと、10000人検査して100人が感染症とでは違いがあります。又、検査をした人は、無作為に検査をしたのか、それとも熱がある人が病院に行って検査したのか、それが解らなければ、今日は何人が感染症にかかった、と言われてもこの数字に意味あるのかなあ、などと気になって考えるようになれば、それはあなたが数学的なものの見方考

え方ができるようになっている証なのです。

もう一つ例を挙げましょう。それは道徳的なものの見方考え方についてです。皆さんは「それは自分の自由だ」と言ったことはないでしょうか。「もう、いい加減ゲームをやめなさい。何時間やってるの」と保護者に言われ、「いいじゃん、自分の自由じゃん」といったようなことです。しかし、この自由は、本当の意味で自由ではないのだということが皆さんには解りますか。あなたは只々ゲームをしたいだけ、その、謂わば欲望にあなたが従わされているのだ、そういう見方考え方はできないでしょうか。ある人の言葉を借りれば「欲求と欲望の奴隷」となっているということです。もし、このように考えられれば、あなたは道徳的なものの見方考え方ができるということです。

後一つだけお話しします。皆さんの中には美術館に行ったことのある人もいます。そこには多くの有名絵画などが展示してあります。そこに例えば世界的に有名な絵画が展示されていたとしましょう。あなたはその絵をちらっと見た。しかし素通りしてしまった、その価値も解らずに。そのときあなたは、美術的なものの見方考え方がまだ備わっていなかった、そう言えるかもしれません。

皆さんが実社会に出て多くの問題に出会ったとき、いろいろ考えるでしょう、「どうすればよいのだろう」と。こうして頭をめぐらし、より良い判断を下そうとするとき、知識も大切ですが、重要なのが様々なものの見方考え方です。一面的に物事を捉えていては決して解決できないことも、これが新たな道を切り開いてくれるはずです。

様々なものの見方考え方があれば多くの友達を受け入れるゆとりができ、人間関係もうまくいくでしょう。

世の中の情勢を捉えようとするとき、世界の進むべき方向があなたには解るかも知れません。

これまで誰も分からなかったいろいろな発見をするかも知れませんし、新たな発明だって成果を上げられると思います。

こうした力をしっかり身に着けるためにも、三年間、教科の学習をしっかり行い、良き社会人になってほしいと願っています。

令和三年 四月七日

東久留米市立西中学校 校長 薮野勝久